

# エリアウエツブ

## 主な記事・紹介校・団体

- ・境川小・石和西小・御坂東小・菱山小
- ・岩手小・塩山北小・浅川中・石和東小
- ・すてっぷ・あつふる・桃花台学園
- ・ろう学校・県立博物館・きつさいざわ
- ・ことぶき勸学院・塩山高

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

## 郷土愛の醸成 ～故郷は好きですか～

峡東教育事務所

地域教育支援スタッフ 標 輝人

笛吹市 新道峠より富士を望む

まだ今年度が終わってはいませんが、昨年度より2年間、峡東地域の地域教育支援業務に携わらせていただきました。突然のコロナ禍で多くの教育的行事が中止される中、地域の皆様に支えていただき、この2年間で管内全ての学校・市教委などの取組の一部を本誌で紹介することができました。かけがえのない経験をさせていただきましたことに、誌面を借りて心より感謝申し上げます。

私はそれまで県立高校に勤め、教員生活の大半を有名難関大学への進学指導に傾注してきました。学区制のない高校では、進学実績や部活動の実績で入学希望生徒の傾向が大きく変わります。同等の意識をもった仲間が各地から集まり、切磋琢磨しながら互いに良い影響を与え合う環境で学ぶ経験は、成長過程において大変重要です。

しかし、優秀な生徒を次々と県外に進学させればさせるほど、優秀な人材を他県に放出することに繋がり、その教育努力が地元還元されないのではないか、という危惧はぬぐえませんでした。山梨に就職環境がないからこそ、自ら起業したり、市場を開拓したりする能力を養い、いつかは帰郷し活躍して欲しいと願っています。

郷土の偉人である 雨宮 敬次郎や 根津 嘉一郎も20代で地元を離れ、県外で事業に成功しています。ただし、その後彼らは甲州財閥を名乗り、県内への鉄道の開通や小学校へのピアノの寄贈など、地元へ大きな貢献を続けたことは有名です。彼らに共通している強い郷土愛は、幼少時に育まれたものに他なりません。

人口減少が喫緊の課題である山梨県ですが、ふるさと回帰支援センターによる「移住したい都道府県」調査では、山梨県は過去5年間の平均が全国3位なのに対し、ブランド総合研究所による「愛着度+自慢度」からなる「郷土愛ランキング」では同平均40位であり、移住を

相談すると地元民から「山梨なん、何もねーからよせし…」と言われるそうです。住んでいる大人が実際に魅力を感じていないなら、地域で育つ子どもに魅力が伝わるわけがありません。次世代を担う子どもたちに郷土愛を醸成させるためには、時や場所、状況等に関わらず、一層の学校教育・家庭教育・地域教育の連携が必要です。



平成6年、東京都の大学生物学研究室実験助手からUターン転職、塩山高校に着任。韭崎高、甲府一高などを経て令和2年度から現職。

前述したように高校には県内全域から生徒が通いますが、塩山高校が今年度3年生全員に行ったアンケートでは、「甲州市に魅力を感じる」とした生徒は甲州市出身が80%、市外出身が60%だったそうです。これは保幼・小・中学校時代に、しっかりと郷土教育がなされたことを示します。さらに卒業前に同様の調査を行ったところ、市内生が85%、市外生が76%に増加していました。塩山高校でも僅か3年間で甲州市の魅力伝える取組がなされているということです。もちろん、この例に限らず、全ての自治体で同様の取組と結果が見られるはずだと、この2年間で確信できるようになりました。

郷土愛は教え諭すものではなく、自然に感じ染みつくものです。私たち大人が日常に不満を言わず、故郷での生活を心から愉しむ姿を見せ続けければ、子どもたちの心にも自然に醸成されていきます。そのために本気で郷土を愛し、愛せるように魅力を探し、無ければ創り、他の人も愛せるように工夫し、協力し合って愉しく生きていきましょう。私たち大人が意識を変え、行動・言動を変えれば、子どもたちの意識も、山梨の将来も変わります。



## 「夢先生」に続け！

## 笛吹市立境川・御坂東・石和西小学校



講師と一体になって盛り上がる境川小の児童 (11/11)

もつこと、夢に向かって努力すること、そのために仲間を大切にすることなどを熱く語りました。貴重な話を聞いた児童たちは、「いつかは自分も夢先生のようにになりたい」と、さっそく夢を語ってくれました。

笛吹市教育委員会では、元オリンピック選手などを「夢先生」として学校に迎える「こころのプロジェクト・夢教室（日本サッカー協会主催）」を実施しました。いずれもオンラインでの講演でしたが、境川小には競泳で北京とリオデジャネイロの2大会に連続出場した山口美咲氏、御坂東小と石和西小にはサッカーでシドニーオリンピックのメンバーに選ばれた元Jリーグ・ジュビロ磐田の西紀寛氏が、それぞれの体験をもとに、幼少期からの夢を叶えた競技生活を振り返りながら、児童たちへ夢を



挙手で講師の質問に答える御坂東小の児童 (1/20)



一斉にOKのサインを送る石和西小の児童 (1/20)

## 地域とともにある学校づくり～勝沼ぶどう郷駅舎清掃～

## 甲州市立菱山小学校

菱山小学校では「緑の少年少女隊」に加盟した平成5年より28年間、春と秋に「勝沼ぶどう郷駅」の清掃活動を行ってきました。今年度は3、4年生の13名が6月に1回目を実施することができました。しかし、2回目の10月は天候や新型コロナウイルス感染症の影響により何回か延期せざるを得ませんでした。そのような中、子どもたち



清掃後に記念撮影 (12/6)

からは、「駅の掃除はいつやるの?」「中止しないでほしい。」などの声が聞かれ、日程を何回か調整する中で、12月6日ようやく実施することができました。駅員さんと一緒に清掃をすることで、駅の歴史を教えてくださいなど、子どもたちは清掃活動以外にも学ぶことがたくさんあったようです。地域にある駅の清掃に関することで、自分たちが住む地域に貢献する気持ちや地域を愛する気持ちが育成されるとともに、そのことが子どもたちの誇りや自信につながってくれることを期待しています。



駅員さんと一緒に落ち葉を掃く児童たち (12/6)

## 「昔遊び」で地域の世代間交流

## 山梨市立岩手小学校・甲州市立塩山北小学校

岩手小では、地元の老人クラブの方々との「世代間ふれあい活動」を伝統行事としており、子どもたちも老人クラブの方たちも、このイベントを毎年楽しみにしています。今年度もまたコロナの影響で実施回数が減ってしまいましたが、7月には「竹とんぼ」の作り方を学んで一緒に遊び、12月には「ミニ門松」作りを教わりながら交流しました。

また、塩山北小では11月に甲州市教育委員会のコーディネートのもと、1年生が地域支援ボランティアの皆さんから、「剣玉・こま・あやとり・お手玉」の4つの遊びについて遊び方やその楽しさを伝授していただく「昔遊びの会」を行いました。子どもたちは、見たことはあっても触れる機会の少なかった遊び道具に最初は戸惑いながらも、ボラン



塩山北小で、「こま」に紐を絡めて回し方を教わる児童たちと「お手玉」の遊び方を教わる児童たち (11/26)



ティアの皆さんに熱心に指導をしていただくことですぐにコツを覚え、それぞれの遊びを楽しむとともにボランティアの皆さんとの触れ合いを楽しむ姿が見られました。交流後の感想では「けんだまのせんせいへ。さらにのせられなかったけれど、せんせいかやりかたともちかたをおしえてくれたから、さらにのりました。あと一つのせられるように、これからもがんばります。」などのお礼の言葉をしたため、その後も休み時間などで教えていただいたコツを思い出したり、友達と関わったりしながら昔からある遊びを楽しんでいました。



岩手小で「ミニ門松」を作る児童たち (12/21)



## 検察出前授業 & 弁護士出前授業

笛吹市立浅川中学校

峡東管内の多くの学校で「弁護士出前授業」が実施されていますが、浅川中の1学年では弁護士出前授業に加え、「検察出前授業」も実施しました。今年度、県内での実施は2校だけだそうです。12月2日、甲府地方検察庁より検察広報官らを講師に迎え、逮捕状の執行手続き、逮捕から処分を決定するまでの流れといった検察庁の業務説明や、インターネットで友達の悪口を書いたらどんな罪になるのか、といったクイズ形式の講義を受けました。また、生徒たちは実際に使われている手錠や警棒、防刃チョッキなどに触れたり、指紋採取用の



ミニ「六法全書」を手に取り読む生徒



紐付きの手錠に興味津々



弁護士出前授業の様子

スタンプで自分の指紋を確認したりして検察業務を体験しました。出前授業を受けた生徒たちからは「容疑者逮捕の仕方を教えてもらえたり、本物の手錠や防護服を手に取って見たりできたのは貴重な体験でした。」といった感想が聞かれました。

また、1月13日には山梨県弁護士会より各教室にそれぞれ講師を迎えて出前授業が行われ、検察側・弁護士側の両面から、役割や業務のほか、様々な事件の手続きや裁判員制度などについても正しい理解と関心をもつことができていました。

## 本物の投票箱で選挙体験

笛吹市立石和東・石和西・境川小学校

笛吹市選挙管理委員会では、若いうちから「選挙を知る」「選挙に触れる」「選挙への理解を深める」ことを目的に、明るい選挙推進の出前授業を実施しています。今年度は石和西小・境川小・石和東小の3校で実施されました。出前授業では選挙管理委員会のスタッフがクイズ形式を交えながら選挙のしくみや投票の方法などを説明し、児童たちは国政選挙などで実際に使われる投票箱に触



講義を受ける石和東小の5年生

れ、自然に開く投票用紙の特長や、投票時の注意点などを学びました。また、1月に実施された児童会役員選挙で、その投票箱や記載台を借りて投票を行った学校もありました。昔は高年齢者や満25歳以上の男性にしか与えられていなかった選挙権ですが、現在では18歳からとなり、出前授業を受けた児童の中にも高校3年生で選挙に行く人がでてきます。今回の体験をきっかけに、自分たちの将来のために、政治や社会に常に意識をもつことができる、中・高生になって欲しいと思います。



実際に使われる記載台で書いた用紙を投票

## やまなし寺子屋「学び場」 & 「土曜塾」

山梨市学校教育課

「放課後子ども総合プラン」により、峡東3市もそれぞれ学力フォローアップ学習会を実施していますが、山梨市教育委員会では土曜日に「やまなし寺子屋」事業を行っています。小学生対象の「学び場」は市内8カ所の公民館、中学生対象の「土曜塾」は市民会館の会議室を会場に、年間約20回程度計画されてきました。指導員は有資格者の他に、退職教員、日本人英語教師(JTE)、地元出身の大学生など多彩な人材が務め、週末の宿題からテスト勉強や高校入試対策まで、幅広いニーズに応えています。参加した子どもたちからは「学校でわからなかったところがわかりました。」また、指導者の大学生からは「将来、教職を目指しているのので、良い経験になります。」といった感想があり、それぞれの世代が一体となって地域の教育力の向上に貢献していました。



加納岩公民館での様子



日川公民館での様子



岩手公民館での様子

年間約20回程度計画されてきました。指導員は有資格者の他に、退職教員、日本人英語教師(JTE)、地元出身の大学生など多彩な人材が務め、週末の宿題からテスト勉強や高校入試対策まで、幅広いニーズに応えています。参加した子どもたちからは「学校でわからなかったところがわかりました。」また、指導者の大学生からは「将来、教職を目指しているのので、良い経験になります。」といった感想があり、それぞれの世代が一体となって地域の教育力の向上に貢献していました。

また、指導者の大学生からは「将来、教職を目指しているのので、良い経験になります。」といった感想があり、それぞれの世代が一体となって地域の教育力の向上に貢献していました。



## 高校生による書き初め教室

NPO 法人 すてっぴ・あっぴる  
山梨県立塩山高等学校・山梨高等学校



集中して筆を進める小学生

すてっぴ・あっぴるでは、毎年冬休みの特別企画で塩山高校の書道部員を招き、小学生を対象とした書道教室を開催してきました。2年ぶりの開催となった今年は、12月27日に山梨高校の生徒も合わせて7名の高校生が峡東3市から集まった小学生たちに書き初めの指導を行いました。高校生は美しい文字の書き方を指導するとともに、自由に筆絵を描かせるなど「書」の楽しさも伝え、小学生は高校生のアドバイスを真剣に聞き、一筆一筆に集中して次々と素晴らしい作品を仕上げていました。終了後には小学生から「字が上手になった」「楽しくできた」「教え方が上手だった」といった感想が、高校生からは「小学生に教えることによって自分自身の勉強にもなった」などの感想が聞かれました。この企画は平成28年に始まり、毎年継続されることで地域に根付いています。指導された小学生がやがて指導する側の高校生になっていきます。大人ではなく高校生が教えるという異年齢交流のメリットがあり、お互いに有意義な時間を共有していました。



清書した作品を手に、全員で記念撮影

といった感想が、高校生からは「小学生に教えることによって自分自身の勉強にもなった」などの感想が聞かれました。この企画は平成28年に始まり、毎年継続されることで地域に根付いています。指導された小学生がやがて指導する側の高校生になっていきます。大人ではなく高校生が教えるという異年齢交流のメリットがあり、お互いに有意義な時間を共有していました。

## 桃花ダイスキマーケット

山梨県立高等支援学校桃花台学園



見た目も味も美味しい多様なパン



来校者への販売や接客の様子

1月14日、高等支援学校桃花台学園で恒例の「桃花ダイスキマーケット」が開催されました。この行事は、地域の方と保護者ら一般の来校者に生徒たちが育てた野菜や製造したパン等を販売したり、「桃カフェ」と呼ばれるコーナーで飲食を楽しんだりできるイベントです。本来は月に1回のペースで年間8回開かれる計画ですが、昨年、今年とコロナの影響で規模や回数を縮小せざるをえず、開催は貴重な機会となっています。今回も整理券の配布や待機場所への誘導など、感染対策を十分に講じた上で実施され、入場制限で限定された来校者ながら、販売品はどれも大人気であつたという間になくなるほどの盛況ぶりでした。また、桃カフェでは買い物を終えた来校者が焼き菓子を食べたり、飲み物を片手にくつろいだりする姿も見られました。生徒たちが自ら作った野菜や食べ物を販売するなど自主的に運営しているのはもちろん、販売品の作り方を説明するなど、精一杯のおもてなしの心で販売や接客を行っており、就労に対する意欲や仕事の理解の向上に繋がっていると感じました。



「桃カフェ」で、訪れた卒業生らと和やかに語り合う教員

## オンラインでダンス教室（職員研修）

山梨県立ろう学校

山梨県立ろう学校では、2月7日にダンス教室が行われました。新型コロナウイルスの感染防止対策として、オンラインにてダンスインストラクターで手話ダンス指導も手がける 早藤 真紀氏を講師に迎え、3校時に幼稚部、4校時に小学部、6校時に中学部・高等部と時間も分けて実施しました。教職員は手話を使ったダンス指導の方法について学びました。幼稚部は「きゃりーぱみゅぱみゅ」さんの「にんじやりばんばん」、小学部は「WANIMA」の「ともに」、中学部・高等部は「BTS」の「Permission to Dance」の曲に合わせたダンスの指導法を教わるとともに、指導の際に使われる手話表現についても熱心に学んでいました。



ダンス指導の研修の様子



# 体験 綿から糸へ & あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

山梨県立博物館

笛吹市にある県立博物館は子どもから高齢者までが世代を超えて交流し、歴史と文化を学ぶ場、そして情報発信の場として2005年に開館しました。「山梨の自然と人」を基本テーマとして山梨の豊かな自然と人々がどのように向き合ってきたのかという歴史を総合的に調査研究し、それらの成果をこれからの地或振興の重要な指針として提示できるような博物館を目指しています。

1月16日には綿から糸を紡ぐ体験が行われました。峡東地域では「水田稲作に向かない扇状地＝果樹栽培」として有名ですが、甲府盆地



「綿繰り」に挑戦



「糸紡ぎ」に挑戦

地の西部では江戸時代に綿の

栽培が盛んでした。体験の参加者たちは、博物館の畝で栽培された綿を摘んだ実綿（さねわた）から種と繊維を分離する「綿繰り」、繊維だけになった繰綿を綿打ち弓で埃をとり繊維をほぐす「綿打ち」、回転させて糸に撚りをかける「糸紡ぎ」の3工程を行いました。江戸時代には「綿繰り」が子どもの仕事だったと解説を受けた小学生は「最初は楽しかったけど、とても疲れました。現代に生まれて良かったです。」と苦笑いをしていました。仕事をするの大変さを体感できた貴重な時間となりました。また、館内の「寺子屋ひろば」では紙芝居を通して山梨の昔話や文化が紹介され、こちらも大変勉強となる有意義な時間になっていました。



昔の寺子屋を再現した学習会場

## 「わくわく★らんど」で思い出づくり 笛吹市地域子育て支援センター「きっすいさわ」

石和第五保育所内にある地域子育て支援センター「きっすいさわ」では、「内で待つ支援」に加え、「積極的に外に出て関わる支援」へのコンセプトを掲げ、祝日を除く毎週金曜日に妊婦さんから子どもたち、その保護者の方を対象にした出張支援のイベントを行っています。会場となるMEGA ドン・キホーテUNY 石和店もまた、日本初のファミリー型総合ディスカウントストアとして「週末に親子で行きたいお店No.1」をコンセプトに掲げており、地域一体となって「家族で楽しめる空間」づくりを目指しています。臨機応変にコロナ対策が講じられた会場で、参加した親子たちは子どもの



赤ちゃんの手形と足形でクリスマスカードを作る親子 (12/24)



子どもたちの顔写真でカレンダーを作る家族連れ(1/21)

小さな手形や足形をスタンプにして、クリスマスや節分など季節のイベントに合わせたカードやカレンダーなどを制作し、かわいらしい成長の記録としていました。

## ことぶき勸学院卒業生 活動成果発表会

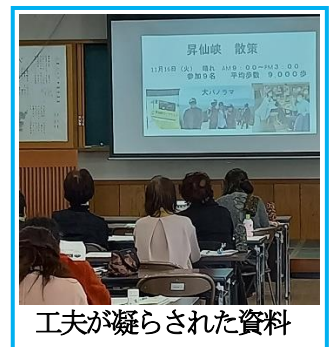
山梨ことぶき勸学院 甲府教室



お互いに発表を練習(1/14)

ことぶき勸学院では、卒業直前にそれまでの活動実践をグループ毎に資料にまとめ、互いに成果を発表し合っています。今年度の甲府教室2年生(34期生)は、1, 2班が「山梨の風土と健康長寿について」3班が「山梨の健康長寿を支える」4班が「山梨の郷土料理と特産品を知る」をテーマに発表会を行いました。最新の調査で、山梨県は「健康寿命」が男女ともに全国2位の長寿県でした。「健康寿命」とは、実年齢である「平均寿命」と違い、介護等を必要としない自立した日常生活を送れる寿命のことです。学院生の皆さまは共に出かけたり、調べたりして

山梨の風土や特産品、無尽などのコミュニケーションの生活習慣が健康寿命に影響することを独自の視点で発表していました。いつまでも健康で学び続ける姿は生涯学習の模範です。特に峡東地区にお住まいの皆さまは、令和元年度に入学されたものの、令和2年度は完全休校、3年度に甲府教室の2年生と合同となり、大変なご苦労をされたことと思います。3月15日には各教室で卒業式を迎える予定です。ご卒業おめでとうございます。



工夫が凝らされた資料



甲州市のワインやブドウの特徴をわかりやすく伝える講師



ワインに含まれる様々な香りをテイスティングする生徒

塩山高校では、普通科英数コースの特別授業として県の  $\alpha$  (甲斐) キャリアプロジェクトによる「理数教育事業」を実施しています。この事業は地域に根ざした先端科学の研究者の講義を受け、実験や観察を行うことを通して、科学の楽しさやその奥深さを実感し、科学への意識・関心を高めるとともに仕事に対する心構えなどを学ぶ機会を得ることを目的としています。1月19日には「ワインから香りを学ぶ〜プラスとマイナス〜」と題し、塩山洋酒醸造株式会社の代表取締役、萩原 弘基氏を講師に迎え、塩山地区のワイナリーの紹介や醸造に関する様々な講義と、ワインに含まれる代表的な化学物質を嗅ぎ分ける実験が行われました。その後、生徒たちは徒歩で近隣の醸造所へ移動し、実際のワイン造りの様子を見学しました。同校のOBでもある萩原氏は、大学進学後に実家の醸造所が経営難に陥ったことで帰郷し、現在まで地道な努力を重ね続けて再建した異例の経歴の持ち主です。ワインの科学の話だけでなく、自分の置かれた環境に不満を言わず、今あるもので何ができるか、何をすべきかを考える重要性を熱く語ってくれました。講義を受けた生徒からは「同じブドウを使用しても出来上がったワインの香りが全然違うということを知り、驚いた。」といった感想に加え、「高校時代、部活を一生懸命頑張ったことが、会社が厳しい時にも頑張れた、とっていたので自分も今、精一杯頑張ろうと思えた。」といった感想も多く、講義を受けたことにより「本気になり、努力することで自分の生きる道を見つけることができる」ことを、あらためて実感することができていました。



醸造所内を見学し、説明を聴く生徒

### 峡東教育事務所からのお知らせ

- ※ 2月4日(金)に、峡東地域教育推進連絡協議会の実務者会が紙面協議とオンライン会議の併用で行われ、来年度より子育て講演会、保幼・小・中連携セミナー、人権のための講演会の3テーマを3市でローテーションしていく方向性が確認されました。
- ※ 12月末の中間調査にご協力いただいた「異校種間授業参観」「県立学校出前授業」実施状況の最終調査を行います。今年度もまたコロナ禍により多くの交流を中止せざるを得ませんでした。来年度以降、交流が活発に戻ることに願いを込め、調査結果を配布冊子の表紙裏面に掲載する予定です。
- ※ 本号をもって令和3年度のエリアウェブ発行は終了となります。昨年同様、コロナ禍の中でも多くの関係機関にご協力いただき、一年間発行を続けることができました。誠にありがとうございました。来年度に向け、3月中も取材対象の募集は続きます。共有したい情報や、教育事務所への要望などがありましたら、これまでどおり随時ご連絡ください。

#### PDF版をご覧ください

『エリアウェブ』はPDFのカラー版を峡東教育事務所のホームページに掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。



エリアウェブ  
ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/backnumber.html>

#### ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報などをスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。



E-mail アドレス

[kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp)

お問い合わせ